

平成 18 年度（2006）女子栄養大学研究発表会

共同研究 / ハイテク・リサーチ・センター

■ 共同研究 研究発表会

日時 平成 19 年 3 月 14 日（水）10 時 00 分～12 時 30 分

会場 女子栄養大学 坂戸キャンパス 2 号館 1 階 多目的栄養教育実習室

- | | | |
|-------------|---|-----------|
| 10:00 | ◆ 開会挨拶 ◆ | 香川靖雄 副学長 |
| 10:00～10:30 | 血中グルコース・インスリン濃度コントロールのための食品の選択から食事指導まで
座長: 研究代表者 五明紀春教授 | |
| | 野菜・ハーブ類の GI および酸化ストレス度に及ぼす影響 | 三浦 理代 教授 |
| | シリアルの種類および牛乳・豆乳が血糖値に及ぼす影響 | 松田 早苗 助教授 |
| | インスリン抵抗性とインスリン・血糖値の変動との関連についての考察 | 徳久 幸子 教授 |
| 10:30～11:00 | 四つの食品群」における実証的食品構成の確立と食教育への展開
座長: 研究代表者 川端輝江助教授 | |
| | 四つの食品群の基礎資料作成のための情報収集に向けて | 川端 輝江 助教授 |

栄養家計簿データの Web データベース化について

藤倉 純子 専任講師

11:00~11:30 新生児における補体レクチン経路の感染防御効果

座長: 研究代表者 高橋信二教授

L-ficolin/MASP 複合体の *Streptococcus agalactiae* 莢膜多糖体への結合および補体の活性化

青柳 祐子 助手

11:30~12:00 植物性食品キレート剤の生理作用

座長: 研究代表者 青柳康夫教授

ソバより単離された新規物質(2''-ヒドロキシニコチアミン)の定量と降圧効果について

日笠 志津 助手

12:00~12:30 栄養素の糖・脂質代謝に及ぼす細胞レベルの研究

座長: 研究代表者 堀江修一教授

コラーゲンペプチドの血漿脂質上昇抑制効果

西塔 正孝 専任講師

難消化性糖質のカルシウム吸収促進効果

福島亜紀子 助教授

12:30

◆ 閉会挨拶 ◆

研究室委員長 安原安代
教授

■ **ハイテク・リサーチ・センター(生活習慣病研究センター)研究発表会**

—— **高度バイオテクノロジーによる生活習慣病の一次予防** ——

日時 平成 19 年 3 月 14 日 (水) 13 時 30 分～17 時 30 分

会場 女子栄養大学 坂戸キャンパス 2 号館 1 階 多目的栄養教育実習室

13:30～13:50 **ハイテク研究の評価、計画、国際会議に向けて**

研究代表者 香川 靖雄 副学長

13:50～15:20 **特別研究員発表**

座長:研究代表者 香川 靖雄 副学長

n-3 系高度不飽和脂肪酸の摂取による糖・脂質代謝に対する影響

樋口 智之 研究員

活性酸素と時計遺伝子

曾根 清明 研究員

沖縄県久米島の中年住民の健康とリスクファクターに関する研究

長須美和子 研究員

15:30～16:10 **A班 高度バイオテクノロジーの栄養学への応用**

座長:リーダー 佐久間慶子 教授

スピルリナの機能研究

林 修 教授

一免疫細胞の分化・増殖ならびに加齢にともなう粘膜免疫機能変化への作用

血管内皮細胞の機能改善による癌浸潤抑制効果

堀江 修一 教授

16:10～16:50 **B班 栄養クリニック・病態**

座長:リーダー 工藤 秀機 教授

葉酸、ホモシステイン栄養状態に対する遺伝子多型別テーラーメイド栄養指導の効果

福島 真実 助手

安定同位体を用いたミネラル吸収の検討

上西 一弘 教授

16:50～17:30 **C班 モンゴロイドの環境・食生態**

座長:リーダー 武藤志真子 教授

モンゴル・パラオにおける酸化ストレス度の測定

小松 文夫 教授

沖縄県久米島スタディー:2006年度小中高校生親子調査と今後

宮城 重二 教授

坂戸「食」スタディー:ベースライン調査結果及び全体の進捗状況

武見ゆかり 教授

17:30

◆ 閉会挨拶 ◆

研究代表者 香川 靖雄
副学長